

道路走行時におけるコウノトリとの交通事故防止の 啓発チラシを作成しました

令和7年2月1日（土）に、鳴門 JCT～松茂スマート IC 間の高速道路でコウノトリとの交通事故が発生したことを受け、徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会で道路走行時における交通事故防止の啓発チラシを作成しました。

チラシは順次関係各所に掲載・設置を行います。お見かけの際は、お手に取っていただけますと幸いです。

1. 掲載・設置日時

令和7年4月22日（火）～

2. 掲載・設置箇所（予定）

- ・徳島河川国道事務所
- ・道の駅くるくる なんと
- ・道の駅いたの など

※関係各所への設置については調整の上、順次実施させていただきます。

3. チラシの概要

別紙の通り

【問い合わせ先】

徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会
（事務局）

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

電話 088-654-2211（代表） 088-654-9611（直通）

副所長（流域治水） 相田 晴美 （内線 206）

◎流域治水課長 林田 拓都 （内線 351）

◎主たる問い合わせ先

注意

道路走行時は コウノトリに注意

令和7年2月1日(土)に、鳴門JCT～松茂スマートIC間の高速道路でコウノトリとの交通事故が発生しました。

当該箇所である鳴門市大津町は、日本で最もコウノトリの生息密度が高い場所となっており、高速道路から1km圏内には30～40羽のコウノトリが生息していると言われています。

コウノトリは低く飛ぶため、今後も同様の事故が発生する可能性がありますので、運転の際はご注意ください。

コウノトリの一年の過ごし方

卵を産むと、ヒナが巣立つまで子育てする姿が見られます。卵を温めている間は必ず1羽は巣の中にいます。

4～6月

コウノトリ に 会える？

4～6月にコウノトリの巣で最も高頻度で会うことができますが、時期によっては巣周辺より、大津や大麻東部のレンコン田にいる時もあります。

10～2月

繁殖準備をするために、枝などの巣材を運ぶ姿が見られます。

1
～
3
月

ナベヅルも

10月下旬～3月まで日本で越冬。コウノトリと田んぼにいる姿や、日の出・日没後に、上空を飛ぶ姿を見られることも

本州から吉野川流域に多く飛来する季節。繁殖場所を探す独身の鳥や、飛べるようになった幼鳥が日により2～20羽程観察できます。



ハスの花も

7月頃レンコン田はハスの花が満開に。観賞は午前7～9時頃がおすすめ

巣立ちをしたヒナが、自分で食べものをとる訓練を始め、やがて巣に戻らなくなります。レンコン田は葉が茂るため、水路やビオトープでよく見かけます。

